

道路公社は県の出資金を返すつもりなのか？

井手たくの問い

神奈川県が公社に対し出資をしている金額というのは、現在はどのくらいあるんでしょうか。

道路整備課長の答え

公社設立時に県からの出資金として100万円、その後本町山中有料道路建設時に30億8,000万円、それから三浦縦貫道路建設時に77億円、トータルいたしますと、107億8,100万円、この金額が出資をした金額でございます。

井手たくの問い

道路公社の経営に関する検討会がまとめた資料を見ると、平成33年度に本町山中有料道路が料金徴収期間満了になる、そのときに31億円、出資されたものを返還すると、13億円の資金不足になるということが書かれているんです。

平成41年の三浦縦貫道路の料金徴収満了において、出資金77億円をもし返したら、45億円の資金不足が発生するということが書かれているんです。

出資金というのは、位置付けとしてはどういう予定になっているのか確認させてください。

道路整備課長の答え

出資金の位置付けでございますが、料金徴収の満了時までには、返還をしていただくのが基本であるという考え方を持っております。

井手たくの問い

平成17年度神奈川県の包括外部監査で、資金繰りについて、公社に対して、抜本的な対策が望まれるという意見を出されてお

ります。それに対して、公社が書いている部分は、出資金は公社の基本財産に対するものであることから、事業終了と精算はイコール関係にないと、この対応のところで書いてあるんです。これは、どういう意味なのか。

道路整備課長の答え

出資金の返還については、法律的な根拠、法律的な規定というものはございません。また、借入金とは異なりまして、返還に関する約定というものは存在しないということで、恐らく料金の徴収期間の満了の時期と出資金の返還の時期が、必ずしも一致するものではないと、そういうことを示しているのではないかと、こんなふうに理解をしているところでございます。

公社道路位置図

